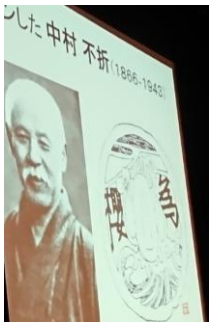
学校説明会

７月２７日（金）

学校説明会を午前・午後の２部に分けて，下妻市民文化会館で実施しました。あわせて学校内見学も開催し，３年生の課外授業や部活動および施設等を見学していただきました。保護者・生徒併せて約１５００人を超える方々にご来場いただきました。有り難うございました。



説明会次第　　司会・受付・誘導は生徒主体で実施

１　弦楽部による演奏
２　英語部によるスピーチ
３　校長挨拶
４　本校のキャリア教育について
５　学校紹介（生徒会）
６　応援団による演技
　（受検生へのエールを含む）

校長挨拶要旨

おはようございます（こんにちは）。
本日は，猛暑と台風の接近にもかかわらず，下妻一高の説明会にお出で下さいましてありがとうございます。昨年度から校長を務めている細野と申します。どうぞ宜しくお願いします。これからの説明を聞いて本校の教育活動をよく知って感じて，入学を希望する生徒さんが増えることを期待します。

本校が育てたい生徒像は、《校訓五章と綱領に示す「誠実・剛健（心身のたくましさ）・進取（有益な新しいものをとりいれる」を踏まえ，地域社会の要請や生徒の実態に基づき，122 年の歴史と伝統を継承しつつ，新たな校風を確立し，社会に貢献

できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人材の育成を目指す。）としています。
　その精神に則り，今求められている《地域創生およびグローバル社会で活躍する人財》を育てたいと考えています。実際，本校で学び，社会に出て様々な分野で活躍している卒業生が多数輩出しています。
代表的な方々を挙げれば，

- 産業用ロボットの世界的メーカー・ファナック創始者（稲葉清右衛門）
- 三井不動産トップで TDL や筑波研究学園都市開発（江戸英雄）
- 月島食品工業（橋谷亮助）日本の特許王（伴五起）
- ヤマダイ株式会社「ニュータッチヌードル」（大久保慶一）
- 政治家・官僚（内閣官房副長官・北沢直吉，農林大臣・赤城宗徳，大蔵省造幣局・戸恒東人）
- 芸術家（彫刻・市村緑郎，書道・松本筑峯，画家・利根山光人・飯泉俊夫）
- 作家（直木賞・海老沢泰久，小説・堂場瞬一）
- 脚本家（水戸黄門脚本・桜井康裕，文学座・山口誓志）
- 学者（日本古代史・肥後和男，極低温物理学・粟野満，インド仏教・生井智紹）
- 日立製作所基礎研究センタ チーフサイエンティスト（坂入実）
- スーパーコンピュータ「京」開発者（横川三津夫）
- ソニーウォークマン１号機制作者
- アマゾンジャパンバイスプレジデント（村井良二）

　このような卒業生の中から講師を選び，生徒に将来への夢や希望を持ってもらう「先輩講話」を毎年実施しています。今年は，野球部の４番打者として県ベスト８に入り，東北大学医学部に現役合格し，２０代で既に外科医として活躍中の先輩に講演してもらいました。この他にも自治体首長や地域の教育を支える小中高校教師等が地域のみならず日本や国際社会で活躍しています。
　現役生徒の活躍に目を向けると，文武不岐の精神のもと，学習・部活動の両面でめざましい成果を上げています。学習の成果は，このあと説明がありますので，今年度の部活動について，４月から今までの主なものを紹介します。

　　海高との定期戦１０連勝中。
　　全国大会　陸上競技部，ソフトテニス部（国体選手にも選出）
　　関東大会　陸上競技部，ソフトテニス部，水泳部
　　県３位　　男子バスケット（男女とも県優秀選手に選出），ソフトテニス部
　　国体選手としてソフトテニス部とバスケット部から選出
　　野球部２年連続４回戦進出
　　近年特に注目を浴びている応援団，茨城国体県選手団結団式にて応援依頼

　授業中は，集中して学習に取組み，放課後は，躍動する姿が見られ，体育館やグランドには生徒の生き生きとした歓声が絶えない活気に満ちた学校です。
　私自身，約４０年前に下妻一高を卒業しました。本校に伝わる「文武不岐」や「為桜魂」という精神的な支えと教育体制に育てられたと強く感じています。
信頼できる先生，励まし合う仲間，頼れる先輩，慕ってくれる後輩との繋がりは，

下妻一高の持つ財産です。下妻一高のよき伝統は，脈々と受け継がれ，人を育て続ける教育力に溢れた学校であると自信を持ってお伝えできます。

私は，この学校で教員としても，１１年間働かせてもらいました。これは教師としての大きな財産です。「生徒のために」を合い言葉にして同僚の先生方と競い合いながら働きました。生徒達の熱い夢や希望，そして保護者の方の思いを受け止めて，それに応えたいという我々教師のプロとしての誇りが一体となって，生徒が，学校が成長してきたのだと思っています。

また，下妻一高は新しいことにもチャレンジし続けています。その代表例が「光プロジェクト」です。詳しくはこの後説明がありますが，生徒一人一人の特性や要求に応えながら，学校全体として，高いレベルの進路実現を目指しています。下妻一高は，下妻一高は皆さんを成長させ夢を叶えられる本当の意味での伝統校です。

先頃発表された中高一貫校開設もその流れを加速させるものです。皆さんが高校３年生になったとき，附属中学校の１年生が入学してきます。また一つ新しい歴史が始まります。一緒に歴史を作りましょう。

短い時間ではありますが，今日は下妻一高の今の姿を見ていただき，皆様の未来を思い描いていただけると幸いです。来年の入学式で会えることを楽しみにしています。学校ＨＰも新しい情報満載です。是非ご覧下さい。よろしくお願いします。